

【米田主宰の俳句】

寒 卵

米田規子

抜け道の臘梅香る直売所  
山笑う削ることばと足す言葉  
味噌汁にポンと滋養の寒卵  
平常心どこかに忘れ赤いマフラ―  
電子辞書閉じて開いて冬深む  
しろじろと枯野の先の大病院  
待春の手紙にそつと胸の内  
坂道をすいすい漕いで春隣  
春来る三枚重ねのパンケーキ  
三寒四温ペン胼胝のいとおしく